

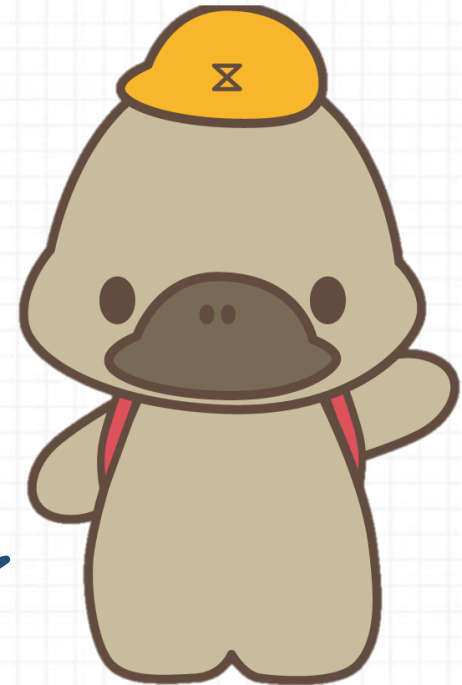
# 防災台帳の作り方

防災危機管理課

# 目次

0. 防災台帳を作ろう
1. 仲間を集めよう
2. 地域の特性・危険性を把握しよう
3. 組織体制を見直そう
4. 地域の資源を確認しよう
5. 他の地域と調整しよう

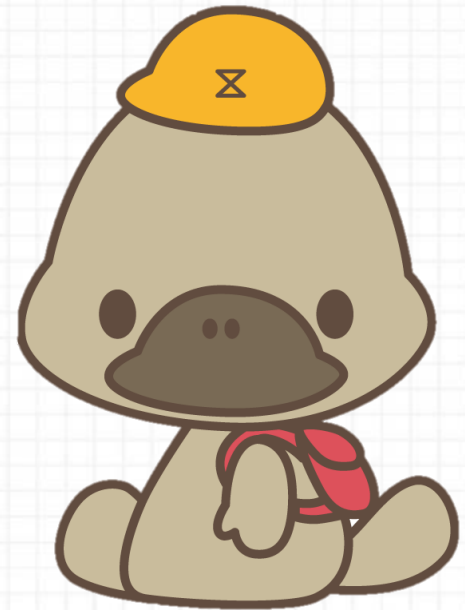
僕はハッピーくん！自分の地域を守るために、僕と一緒に防災台帳をつくろうよ(‘ω’)



# 0. 防災台帳を作ろう

自主防災会が自分たちの地域を守るために、日ごろからどんな危険性があるのか、どんな資源を活用できるのか等、把握しておくことが重要です。この防災台帳を作成し、様々な立場の人と情報を共有しておきましょう。

災害時は、何が起こるか分からないから、色々な人がこの防災台帳をみられるようにしておくといいね。



# 1. 仲間を集めよう

防災台帳を作成するにあたり、自治会だけでなく、消防団・女性防火クラブなど様々な組織の人が一緒になって取り組めると良いでしょう。小中学校PTA役員など若い世代が入るといざという時の体制が強固になります。

避難者は女性や子供も多いから、女性の目線も大切だよ！  
外国人が多い地域では、そういった人たちの意見も取り入れられるといいね♪



## 2. 地域の特性・危険性を把握しよう

防災台帳を作るために、まずは、地域の特性や災害の危険性をみんなで話し合ひましょう。

この特性・危険性をもとに体制や必要となる資機材を検討することになります。

何の危険があるかしっかりと確認しましょう。

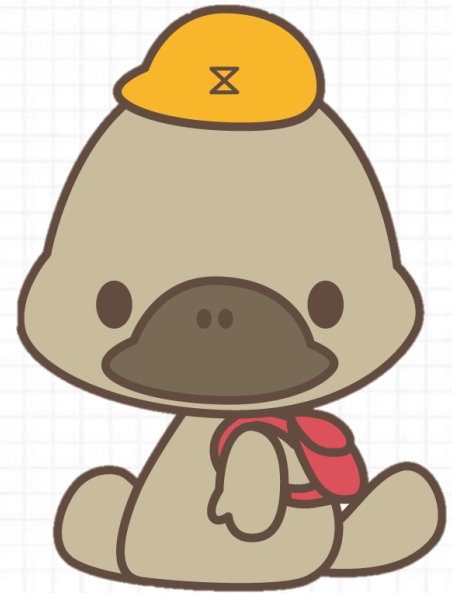
海や川から遠くて安全だと思っても、道路が狭くて救助車両が入れないとかいろいろなリスクがあるかもね。  
昔は池だった場所が液状化しちゃうこともあるかもね～。



## 3. 組織体制を見直そう

次に、自主防災会の組織体制を考えてみましょう。校区・町で必要となる班が変わります。また、地域によって要となる班が違うことも想定されるため、自分の地域でどんなハザードがあるのかも意識しながら話し合しましょう。

実際の災害の時に、地域の役員だけですべてを担うことは難しいから、各班のリーダーとなる人を選ぶことになるね。平日・休日で地域に残っている人も違うから難しいね…



## 4. 地域の資源を確認しよう

災害時に使用できる地域の資源について、話し合みましょう。避難所などの公的施設、災害時に使用できる資機材のほかに、災害時に協力してくれる団体・人・民間企業も共有しておきましょう。また、街頭消火器を把握することも大切です。

過去の災害では、地域の企業が提供してくれた重機を使って倒壊家屋から救出を行った事例もあるよ！  
要配慮者の支援に福祉団体の力を借りられるといいよね。  
街頭消火器は事前に場所を確認しておけるといいね！



## 5. 他の地域と調整しよう

災害時は、自分の校区・町だけでなく他の地域とも協力することが大切です。お互いに連絡先を交換したり、普段から協力体制を整えておきましょう。

あらかじめ校区をまたいで避難する可能性が高い地域は、事前に担当者同士顔を合わせ、避難所開設訓練を合同で行うなどの取り組みをしておくといいね。  
校区防災会は、校区内の避難所をどの町防災会が中心となって運営するか事前に決めておけるといいね！

